

報道機関各位
(京都経済記者クラブ、中部経済産業記者会)

No.11-01-01
2011年2月16日

【ご案内】

「レーシック手術」後の予期せぬ視カトラブルに初めて対応 サンコンマイルド Epi(ツインベルLVCタイプ) サンコンマイルドⅡ(ツインベルLVCタイプ)を発売

(株)サンコンタクトレンズ(京都市中京区、社長大橋敏夫)は、近視屈折矯正手術(レーシック)後に予期せぬ角膜不正乱視や低矯正・過矯正が生じて見え方でお困りの方の視力矯正のためにデザインしたカスタムメイドハードコンタクトレンズ、サンコンマイルド Epi(ツインベルLVCタイプ)とサンコンマイルドⅡ(ツインベルLVCタイプ)を3月1日に発売します。近視屈折矯正手術を受ける方は年々増えていますが、それに伴って術後のトラブルも急増しているといわれます。このような障害を対象とするカスタムメイドコンタクトレンズは業界で初めてです。

近視屈折矯正手術をうける前の角膜のカタチは、中央部より周辺部のカーブがゆるくなってラグビーボールのようなカタチをしています。屈折矯正手術をうけた後の角膜のカタチは、中央部が削られてカーブが船底の様なゆるい台形状になっています。そのため通常の視力矯正用ソフトコンタクトレンズやハードコンタクトレンズでは、見え方がぼやけたり、異物感が強かったり、ギラギラしたり、レンズの静止位置、レンズ下の涙液交換が悪くて、装用が困難な場合があります。

この度発売するサンコンマイルド Epi(ツインベルLVCタイプ)とサンコンマイルドⅡ(ツインベルLVCタイプ)レンズは、そのような方のために中央部のカーブを削られた角膜の形状に近づける様にゆるくして、レンズ周辺部を一人ひとりの角膜周辺部に合わせたカスタムレンズデザインに設計されていますので、ぼやけ、ギラギラ感、異物感は軽減され、レンズ静止位置、涙液交換を改善することができます。

尚、コンタクトレンズは、高度管理医療機器ですので、医師の処方が必要です。眼科を受診して処方を受けて、レンズの購入が可能となります。

サンコンマイルド Epi 医療機器承認番号 21700BZZ00239000

サンコンマイルドⅡ 医療機器承認番号 16300BZZ00986000

<本件のお問合せは、下記までお願いいたします。>

株式会社 サンコンタクトレンズ 担当：広報室